

令和5年度総社市市民提案型事業 評価結果

採点基準	非常に高く評価できる …A	高く評価できる …B	おおむね評価できる …C
	評価できる部分もある …D	ほとんど評価できない …E	

	団体名 【事業名】	総合評価 (A～E)	コメント
①	一般社団法人KaiKai 【 スヌーズレン体験を通じた重症心身障害児、 医療的ケア児と地域住民の交流プロジェクト 】	B	立派な事業であり、来年度以降も継続されることを期待します。本事業によりスヌーズレン事業を認知してもらえ、障がいの有無に関わらず体験と交流がなされて評価できます。さらに医療分野の学生等との交流が増えたらなお良いです。保育園との協働については継続的に交渉し、ぜひ実現させてください。
②	きびじ農業後継者クラブ 【 あつまれ総社キッズ！ はたらく農機具 春の写生大会！ 】	C	子どもたちの体験の喜びが絵画によく表れていて素晴らしいです。事業目的は素晴らしいので、内容を再検討するとともに、幼児期のキャリア教育が与える影響を調査しながら、本質的な事業へ発展させてください。
③	備中神楽 総社社中 こども神楽育成会 【 備中神楽 こども神楽 】	B	神楽大夫を輩出されて、育成の循環がなされるようになり評価できます。5年間の事業実施で子どもたちも成長し、他の人に教えられるようになっており素晴らしいです。今後も他地域との交流も行いながら、引き続き伝統文化の継承を行ってください。「現代の神楽の価値」や楽しさを「分かりやすく」伝える努力をされることで、さらなる団体の発展につながると考えます。イベントには「お花代」等の収入があると思うので、その収入も明らかにして持続可能性を示していただけるとよかったです。
④	山田プロジェクト実行委員会 【 郷蔵音色カフェと子供たちの昔の道具学習と 体験 ～菊池邸で道具を見たり音楽を聞いたりし て楽しもう～ 】	C	山田ふれあい市などのイベント時には、地域の居場所づくりとしては定着してきていると思いますが、事業内容が日常的な地域の活性化に繋がっていないのは残念です。ボランティアの負荷を問題にしていますが、小道の駅や大国屋を参考にしてください。井戸や昔の農機具体験など小学生向けイベントは良いと思いますので今後も続けてください。また、色々に対応可能なオーディオ機器を購入されたので、聴きたいCDを持って集まってお互いの趣味の音楽を聴き合って楽しむというのはいかがでしょうか。また、80代以上の方の参加率が課題ということですが、80代以上の方も元気な方は多いので、それぞれの方の得意なことを見つけて、役割を提案してみてください。

⑤	豪溪を守る会 【 名勝豪溪の耕作放棄地を美化する事業 】	A	非常に立派な事業なので継続してください。小道の駅との連携もできて良い動きになっていると思います。また、総社市民提案型事業ののぼりを作って宣伝される発想が素晴らしいです。小道の駅と異なり、豪溪ファンは地域外にも多く存在するので、その人たちも巻き込めるような工夫を考えてください。現状では、担い手の年齢層が高いことに懸念があります。まずは地元の若い世代が部分的に参加できたり、観光で来られた方にも体験だけでなく、スタッフとして参加できたりする機会を作るなど、諦めずに担い手育成にお取組ください。
⑥	合同会社 縁社屋 【 総社駅の賑わい創出事業 】	D	総社駅周辺の活性化という想いや姿勢には大いに共感でき、素晴らしいチャレンジだと思います。しかし、現状のアプローチは適正ではなく、もっと魅力のある商品の誘致を企業誘致も含めて継続して検討してください。現状を考えると、地道な活動の積み重ねが効果を発揮すると考えます。まずは、魅力的な場所づくりと広報からお取組ください。レンタルスペースの貸し出しはこれからの時代ニーズが増えるのではないかと感じます。チェロのレッスンなど面白いと思われます。
⑦	美袋駅前活性化委員会 【 地域交流拠点「みなぎの里 大国屋」の運営 】	B	地域の拠点として重要な位置となっており、今後の発展を期待します。ギャラリーの活動が活発になっているので有料化に向けて進化させてください。また、他団体との連携やコーディネーター役も意識してはどうでしょうか。事業名を「～の運営」から「～交流事業」などに改めていただき、大学教員との連携も検討してください。さらに大学という枠を超えて、マルシェやギャラリーの「企画」自体に、普段のメンバー外から関わってもらおう工夫をしてもらいたいと考えます。 なお、事業実施には補助対象事業とその他事業の区分を明確にする方法を検討してください。
⑧	総社市介護保険関係事業者連絡協議会 【 あなたと繋がる介護の輪 】	E	事業が実施できておらず、事業に対して真摯に向き合っていたかたかったです。事業を実施するためのマンパワー不足は理解できるが、WEBなどを活用し、図上訓練など工夫がほしかったと考えます。まだ体制が出来ていないのであれば、まずは、他の財源に依存せず、自分たちでお金を出し合い、研修を始めることからされてはどうでしょうか。今後、事業者間の繋がり、学び合いがより充実するように願っております。
⑨	NPO法人のぞみ 【 チュッピーパンを作ろう 親子ふれあいパン教室inニコニコ堂 】	C	働く障がい者との交流という目的は果たせたと評価できます。事業目的からして親子に限定する必要はないと考えます。子ども世代に限らず、例えば、大学生のインターンシップを受け入れて、他に何ができるか企画検討するのも一つです。子ども世代とパン作り体験にとどまらず、どんな世代にどんな部分で参加して欲しいのかということを検討してみてください。本補助金は団体が自立して活動するために、初期的経費の一部を補助するものです。来年度では、本事業を自主的にできるぐらいのスケジュール感をもっておく方が良いでしょう。 なお、材料ロスなどの反省点を活かし、今後も取組んでください。開催時期が暑い夏場なので、時期を検討してみてください。

⑩	おにっこ太鼓 【 おにっこ太鼓 心にひびけ！体にひびけ！ 「和太鼓にふれるワークショップ」IN山手公民館 】	C	楽しそう！と思えることで、妹や弟が私もやりたいと感じ、広がっている点が素晴らしいです。事業実施1年目としては効果があり評価できますが、参加者の増加を検討してください。FAXでの申し込みを改めて、広報紙や広く知ってもらうInstagram、登録してくれた方にプッシュ型のお知らせのLINEと、SNSを使い分けて、広報してください。
⑪	公益財団法人みんなでつくる財団おかやま 【 食料支援活動（子ども食堂・フードバンク等） の体制強化支援事業 】	C	実際の子ども食堂の自己評価のマニュアルが必要です。毎年、自らの役割やニーズの探索にチャレンジされ、そこに、提案型事業をうまく使われていると思いますが、今年度の本事業自体の成果は高いとは言えません。事業目的に活動を広く知ってもらうこととありますが、参加人数が少なすぎと感じました。集客の努力をお願いします。また、マニュアルやノウハウの共有であれば、「シンポジウム」ではなく、「ノウハウ共有・新たな始め方講座」だと思います。今後も財団の資源を有効活用されながら、「伝え方」も工夫しながら、事業活動を実施してください。マニュアルは解りやすいです。講座の展開等を増やしていき、子ども食堂・フードバンクが小学校区に1ヶ所以上できることやエリアによる偏りの調整ができるような活動にまでもっていけると良いです。